

自主防災組織全区組織化

発表者： 総務課 危機管理係 飯塚 宜文

「自主防災」ってなんでしょう？

ひとたび大規模な災害が発生したとき、被害をできるだけ少なくするためには、公共機関などによる救助や支援（公助）だけでは限界があります。



災害発生時には自分や家族を自ら守る（自助）ことから始まりますが、次の段階では自助を支える地域住民同士による救助・助け合い（共助）がどうしても必要です。



災害に対して地域住民一人ひとりが、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を持って行う共助の活動が自主防災です。

背景

大規模災害の発生

- 平成7年 阪神淡路大震災が発生、死者6,308人
- 平成10・13年 豪雪災害
- 平成14年4月 東海地震にかかる地震防災対策強化地域指定
- 平成15年 中央水源への油混入事故
- 平成18年 7月18～19日の長野県を中心とした豪雨災害
辰野町：死者4名、負傷者3名、住宅の全半壊8棟、
床上及び床下浸水212棟

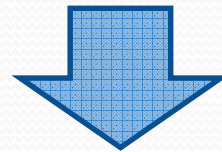
課題

少子高齢化・
核家族化

コミュニティの衰退

消防団員の減少

- ❖ 個人や家族の力だけでは限界
- ❖ 一人暮らし老人世帯が増えている
- ❖ 昼間の活動要員の不足



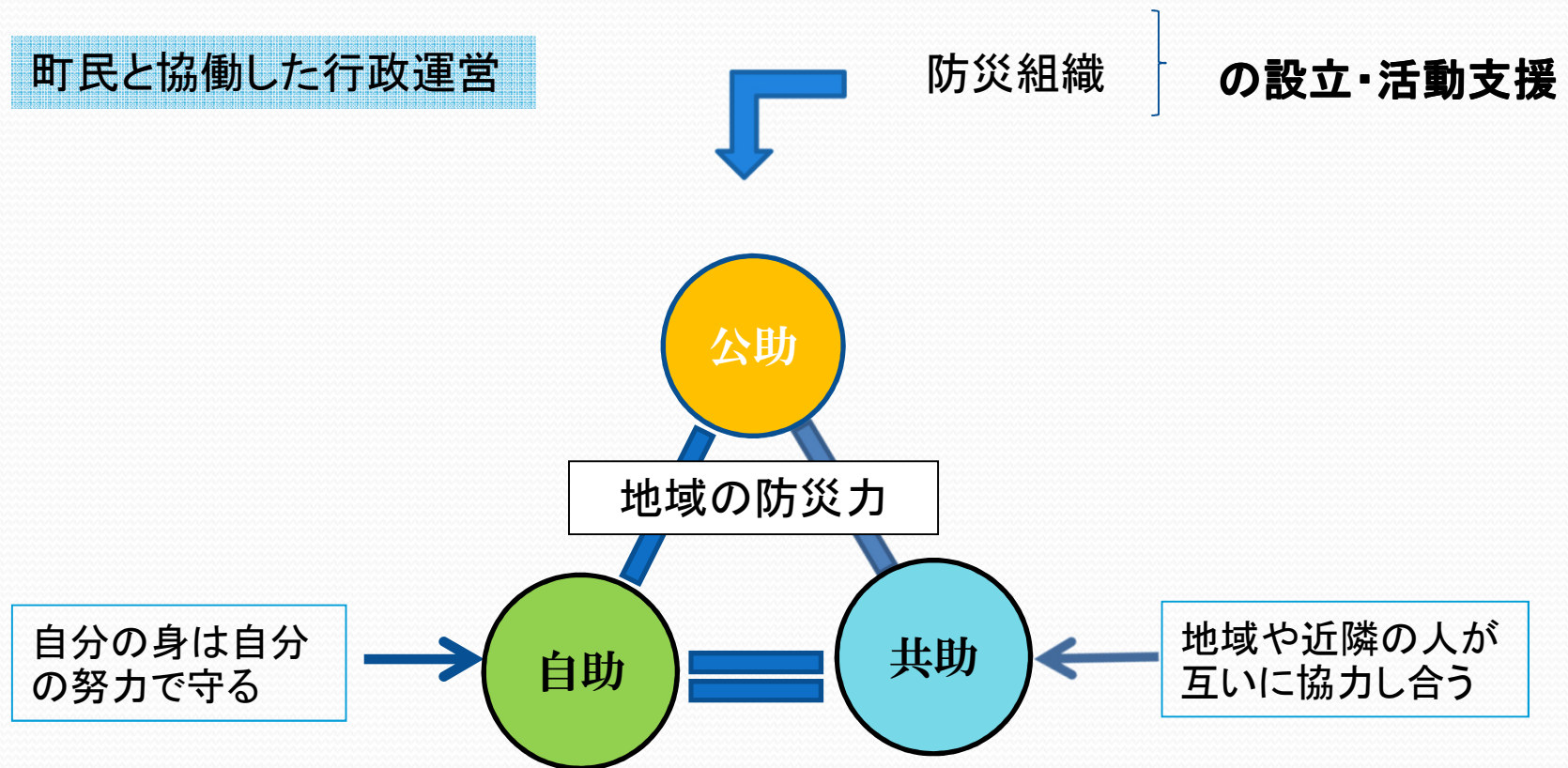
国・県・市町村の対応限界(公助)

自主防災組織がなぜ必要になったのでしょうか？

- ❖ 初期段階の対応（初期消火、救助活動）が必要
- ❖ 有事の際の、救助・救出活動のノウハウが無い
- ❖ 地域の危険箇所が把握できていない
- ❖ 地域役員さんも昼間はいないし、防災ノウハウも持っていない　　.....

目指すべき姿

◆ 平成18年3月 第四次総合計画後期基本計画で取り組みの重点化



結成経過

年	区	名称	結成年月
H18～24	上島区	上島自衛消防団	H19.3
	羽場区	羽場区防災隊	H19.11
	小横川区	小横川区自衛消防組織	H19.11
	北大出区	北大出防災会議	H19.11
	下辰野区	下辰野区自主防災部会	H20.3
	上辰野区	上辰野区自主防災組織協議会	H20.8
	唐木沢区	唐木沢区自主防災組織	H21.4
	沢底区	沢底自衛消防隊	H21.6

協働性について

◆ 協働するために苦労した点

行政側

- 防災資材の助成予算の確保
- 必要性を啓発しても、定着しない

住民側

- 災害を経験しても、風化していつてしまう
- リーダーが替わると、活動も停滞してしまう

◆ 協働により良かった点

行政側

- 地域の防災を担うリーダーが出てきた
- 行政と地域との役割分担のすみ分けができてきた(発災の初動体制)

住民側

- 個人や家族だけでは限界があることを知った
- ご近所づきあいも必要であることを認識

自主防災組織化の取り組み

行政の取り組み

- ◆平成20年 17区の自主防災組織が意見交換
- ◆平成22年 「自主防災組織編成と活動マニュアル」による啓発
- ◆助成事業の実施 : (例)コミュニティ助成金事業による防災機材の整備
- ◆防災訓練主会場訓練を各地区で実施 : 平成13年度から順次実施
“発災対応型訓練”と称して、地域特性を考慮した訓練メニューを独自設定



平成24年11月 辰野町自主防災組織連絡会議の設置

【目的】

- 自主防災組織相互と町との協働の理念に基づく連携と共通理解を深める
- 自主防災体制の充実と災害対応能力の向上を図る

住民の取り組み

- ◆防災訓練を定期的実施。
- ◆地域特有の条件を加味して訓練メニューを主体的に決めて取り組む
- ◆実践的な訓練に自らが取り組む

地域の団体との連携

No.	名称	団体数・人数
1	自主防災組織	17団体
2	アドバイザー	2名
3	消防団	2名
4	奉仕団	2名
5	消防署	1名
6	保健福祉課	1名
7	社会福祉協議会	1名
	計	26団体(名)
	事務局(総務課)	

今後の課題

行政側

- ◆ 防災士(自助・互助・協働を原則として、防災の意識・知識・技能をもっていると認められた人)の育成をはかることが必要
- ◆ 組織強化のための「啓発」のあり方について、行政本位ではなく、住民とともに検討する必要がある。

住民側

- 世代が代わり、取り組みが弱体化している
- 自治会役員＝自主防災組織役員だと、勤めているため、昼間の災害に対応できない場合がある。
- 基本的な知識を持つリーダーの養成が必要
- 個人情報の管理に注意が必要。しかし、プライバシー重視で踏み込んだ活動ができにくい現状をどうするか。
- 地域内の各種団体との連携による、組織的な活動が必要

自主防災組織結成状況

No.	区名	名称	結成年月日	隊長
1	小野区	小野区保安組合	S40.12.20	組合長は区長
2	川島区	川島区自主防災会	S62.4.5	会長は区長
3	上島区	上島区自衛消防団	H19.3.4	隊長は区長
4	唐木沢区	唐木沢区自主防災組織	H21.4.19	会長は区長
5	今村区	今村区自衛消防団	H11.8.29	団長は区長
6	宮所区	宮所区自主防災会	H12.1.1	会長は区長
7	小横川区	小横川区自主防災組織	H19.11.26	本部長は区長
8	宮木区	宮木区防災隊	H15.2.23	隊長は区長
9	新町区	新町地区防災隊	H15.7.17	隊長は区長
10	羽場区	羽場区防災隊	H19.11.1	防災隊長は区長
11	北大出区	北大出防災会議	H19.11.22	本部長は区長
12	下辰野区	下辰野区自主防災部会	H20.3.18	本部長は区長
13	上辰野区	上辰野区自主防災組織協議会	H20.8.23	会長は協議会長
14	平出区	平出区自主防災会	H9設立	隊長は区長
15	沢底区	沢底自主防災隊	H21.6.1	隊長は区長
16	赤羽区	赤羽区防災隊	H13.7.28	隊長は区長
17	樋口区	樋口区防災隊	H17.2.27	隊長は区長

赤羽区自主防災組織 の経過と現状

発表者：赤羽区防災隊 有賀 米吉

既存組織から新防災隊の結成へ

H13年頃 行政からの呼びかけ

既存の自衛消防組織（赤羽区防災隊）



新赤羽区防災隊の結成を計画

手作りの規約を元に、実際に活動できる防災隊が結成

新

赤羽区防災隊

【募集対象】

- ・ 常会役員、班長
- ・ 18歳以上の男女

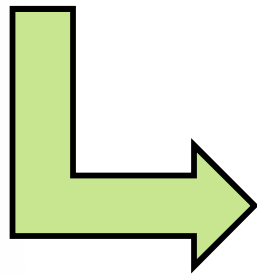


もっと役員以外で昼間に活動できる隊員の加入を求める議論も

- ・ 区執行部と区会議員
- ・ 常会役員
- ・ 地元消防団、奉仕団、安協支部分会、民生委員

防災隊の目的

- 区内の災害を未然に防止すること



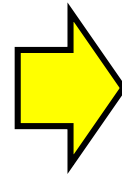
日頃の訓練

- 防災意識の普及
- 災害発生時の人命救助、避難誘導
- 初期消火、水防補助作業

平成18年7月 豪雨災害発生

予兆の把握

異常な湧水



地域住民への注
意呼びかけ

赤羽中山地籍にて土砂崩れ発生

- 家屋全壊3棟
- " 半壊3棟
- 床上浸水4棟

発災時の対応・その後の備え

連日対応

町災害対策本部からの
避難指示発令

- ・被害宅・周辺住民の避難誘導
- ・避難所の設置、維持
- ・崩落土砂の撤去

組織的活動

- ・他常会からの応援
- ・役員、奉仕団、民生委員、ボランティア

“防災は忘れないうちにしておく”の心構え

- ・町からの資器材、資金の援助
- ・年2回の防災訓練実施

「自衛消防隊」の組織化

防災隊とは別に消防分団経験者や区役員経験者を主体とする組織

いざと言うとき

消火器や消火栓が使えないでは困る！

- ・ 高齢者等の避難補助はそこに住み隣近所を熟知している防災隊が毎年の訓練により災害時に組織的に活動できる意味は大きい